



市長随筆

Mayer Essay



おもてなし一斉除草に参加

7月14日の朝7時から行われた、市内の国道沿線のごみ拾いや除草をする「天草海道おもてなし一斉除草」に参加しました。

この取り組みは、観光地・天草の魅力アップを図るために、官民一体となって美しい道路景観の向上を図ることを目的に、昨年度から始めたものです。

私は天草工業高校前の国道沿線の草払いをしましたが、当日は天草地域の各所で各団体や地域の方々など、多くの皆さんにご参加いただきました。

季節柄、雑草は伸び放題に伸びており、かまを片手に1時間ほど作業を行いました。きれいに除草された道路を見ていると、作業後の爽快感と相まって、すがすがしい気持ちになりました。

今回のような清掃活動は、道路周辺に限らず、海岸や山、観光施設などのさまざまな場所で、学校や職場組織、各地区単位などで、ほんとうに多くの皆さんにお取り組みいただいています。一人ひとりが清掃できる範囲は限られていますが、この活動の積み重ねが美しい天草をつくり上げていくものだと思います。

いよいよ、天草がもっとも輝く季節「夏」本番です。さらに、秋にかけては大きな会議や催しが天草で開催されますので、例年以上に多くの皆さんがお越しになることが見込まれています。

おもてなしの心でお迎えするのはもちろんですが、天草の美しさを思い出にいただけるように、皆さんのご協力をお願いします。

天草市長 安田公寛

消費生活

「クーリング・オフ」ご存じですか？

「クーリング・オフ」は、訪問販売や電話勧誘販売で交わした契約を、所定の期間内であれば無条件に解約できる制度です。

◆クーリング・オフができる取り引きと期間

- 訪問販売・電話勧誘販売・特定継続的役務提供(エステティックなど)・訪問購入……………8日間
- 連鎖販売取引(マルチ商法)・業務提供誘引販売取引(内職商法)……………20日間

※店舗販売や通信販売で購入した商品は、クーリング・オフができません。

上の期間を過ぎていても、書面の不備や嘘の説明などがあれば契約を解約できる場合がありますので、まずはご相談ください。

なお、クーリング・オフの方法についての詳細は、市消費生活センターへお尋ねを。

【問い合わせ先】

市消費生活センター ☎②6677

実践 エコ暮らしのECOセトラ

家庭でできる川や海にやさしい暮らし

私たちの身近にあるきれいな川や海は、家庭から出る生活排水で汚れます。

そこで、家庭でできる川や海にやさしい暮らし方について紹介します。皆さん、ぜひ実践してみませんか。



食器やフライパンの油污れは、キッチンペーパーなどでふきとってから洗う。



油は排水口に捨てずに、廃食用油として資源物回収へ。



米のとぎ汁は、植物への水やりに利用。



洗濯洗剤は、きちんと量を計って使う。



浄化槽を持っている人は、定期的に点検や清掃を依頼する。

【問い合わせ先】

本庁・市民環境課 ☎②1111



▲調理実習のようす

市や関係団体で組織する天草市オリーブ振興協議会では、子どもたちにオリーブオイルの関心を高めてもらい、オリーブを通じた食育を推進しようと、講演会や調理実習を実施しています。

6月6日には、牛深東中学校でオリーブオイルソムリエ、出張料理人の小暮剛さんを講師に招いて「オリーブ講演会」を開催し、同校の生徒110人が参加。小暮さんが天草でのオリーブ栽培の状況をはじめ、自然豊かな天草でとれる食材のすばらしさ、その食材とオリーブオイルとの相性の良さを解説され、生徒たちは熱心に聞き

入っていました。その後、2年生の生徒36人を対象にして、日本有数の生産量を誇る牛深産の「雑節」(サバやトビウオなどの削り節)と、オリーブオイルを使ったサラダの調理実習を実施。試食をした生徒は、「野菜が苦手でしたが、オリーブオイルを使うとおいしく食べられた」と話していました。

今回の講演会を通して、生徒からは「雑節が牛深の名産とは知らなかった」「自分たちはいいところに住んでいるんだと思った」などの声がかげられました。オリーブについて学ぶだけでなく、天草のすばらしさを再認識する良い機会にもなったようです。

同協議会では、今後も子どもたちを対象にしたオリーブオイルの普及・啓発に取り組んでいきます。

※詳しいことは、本庁(別館)産業政策課 ☎②1111へお尋ねください。

天草市男女共同参画センター

ぽぽらす通信

※「ぽぽらす」とは、イタリア語で市民などを意味する「ポポラーレ」と、拠点をイメージさせる言葉である「巣」を組み合わせた造語です。



▲打ち合わせを行う同会の皆さん

“ぽぽらす”は男女共同参画社会づくりの拠点です！

ぽぽらすは、男女共同参画社会を進めるための拠点施設です。男女共同参画社会を推進する団体が「団体登録」を行うことで、ぽぽらす内の会議室を利用することができます。

登録団体のひとつである「あまくさ♡認知症を地域で支える会」(塚本二美会長、会員160人)は、認知症の人やその家族を地域で支えていくことを啓発するため、各種イベントで寸劇の披露や子どもを対象にした紙芝居の朗読などを実施しておられ、寸劇の練習や打ち合わせなどにぽぽらすを利用されています。

ぽぽらすでは、このような各種団体と連携し、また、支援を行うことで男女共同参画社会づくりを進めています。

登録団体を募集！

ぽぽらすでは、男女共同参画社会づくりに賛同し活動を行う団体を募集しています。登録方法などの詳細は、ぽぽらすへお尋ねください。

【問い合わせ先】市男女共同参画センターぽぽらす ☎②8200